

＜調査内容＞

1. アンケートの趣旨

学校運営協議会制度により、地域住民等からの意見・協力を得ることで教育活動の活性化を図るとともに、地域の特性を生かした学校づくりや課題解決に向けた取組を進めている。

これらの取組により得られた成果や課題を明確にし、地域に支えられる、開かれた学校づくりに役立てることを目的として、各市立学校長に対してアンケートを実施した。

2. アンケートの対象

各市立学校長（小：42校 中：22校 高：1校 計65校）

※小中学校（4校）、一条高等学校付属中学校 一条高等学校の校長は兼務のため、
実質60名の学校長が対象である。

3. アンケートの実施期間

令和6年2月29日～令和6年3月12日

4. 調査内容

1. 校長が学校運営協議会委員に求めた意見
2. 1で回答した中で、熟議に必要な情報を開示したか否か
3. 学校運営協議会委員からの意見を実際に学校運営に生かした例
4. 学校運営協議会委員からの意見を教職員全員で共有し対応しているか
5. 学校運営協議会で決定した方針を地域教育協議会等に共有し対応しているか
6. ①学校運営協議会で熟議ができているか
②熟議できていない理由として考えられるものについて（①で「いいえ」と回答した人のみ）
7. コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）による成果
8. コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）における課題

5. アンケートの回収

小学校：38件 中学校：17件 小中学校：4件 高等学校：1件 計60件の回答

6. アンケート集計方法

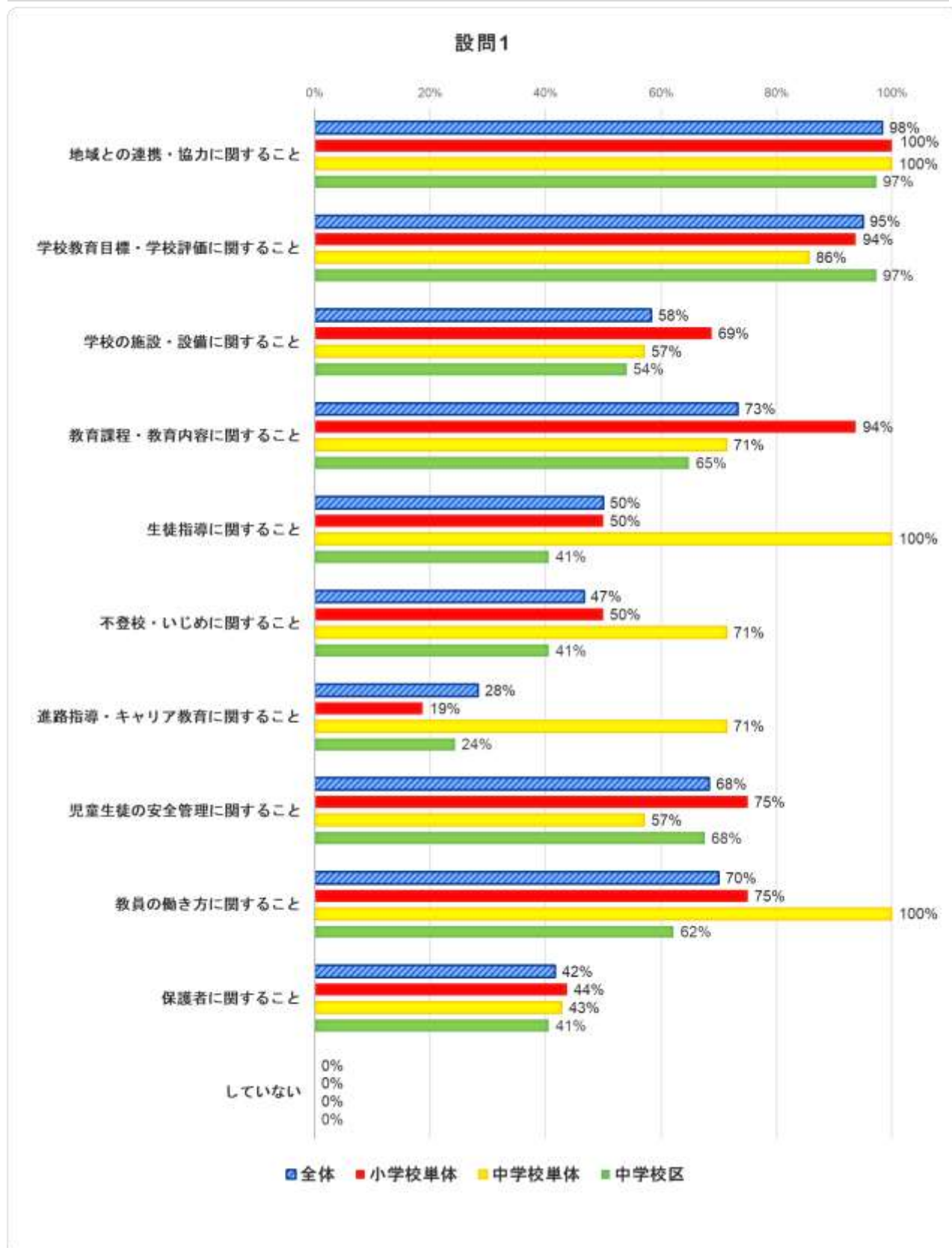
学校運営協議会の設置形態ごと

小学校単体（16）・中学校単体（7）・中学校区（37）

令和 5 年度 学校運営協議会制度の活用状況に関するアンケート

集 計 結 果

1. 校長は、学校運営協議会委員にどのようなことについて意見を求めたか。(複数回答可)



	全 体 (60)		小学校単体 (16)		中学校単体 (7)		中学校区 (37)	
	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率
地域との連携・協力に関すること	59	98%	16	100%	7	100%	36	97%
学校教育目標・学校評価に関すること	57	95%	15	94%	6	86%	36	97%
学校の施設・設備に関すること	35	58%	11	69%	4	57%	20	54%
教育課程・教育内容に関すること	44	73%	15	94%	5	71%	24	65%
生徒指導に関すること	30	50%	8	50%	7	100%	15	41%
不登校・いじめに関すること	28	47%	8	50%	5	71%	15	41%
進路指導・キャリア教育に関すること	17	28%	3	19%	5	71%	9	24%
児童生徒の安全管理に関すること	41	68%	12	75%	4	57%	25	68%
教員の働き方に関すること	42	70%	12	75%	7	100%	23	62%
保護者に関すること	25	42%	7	44%	3	43%	15	41%
していない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

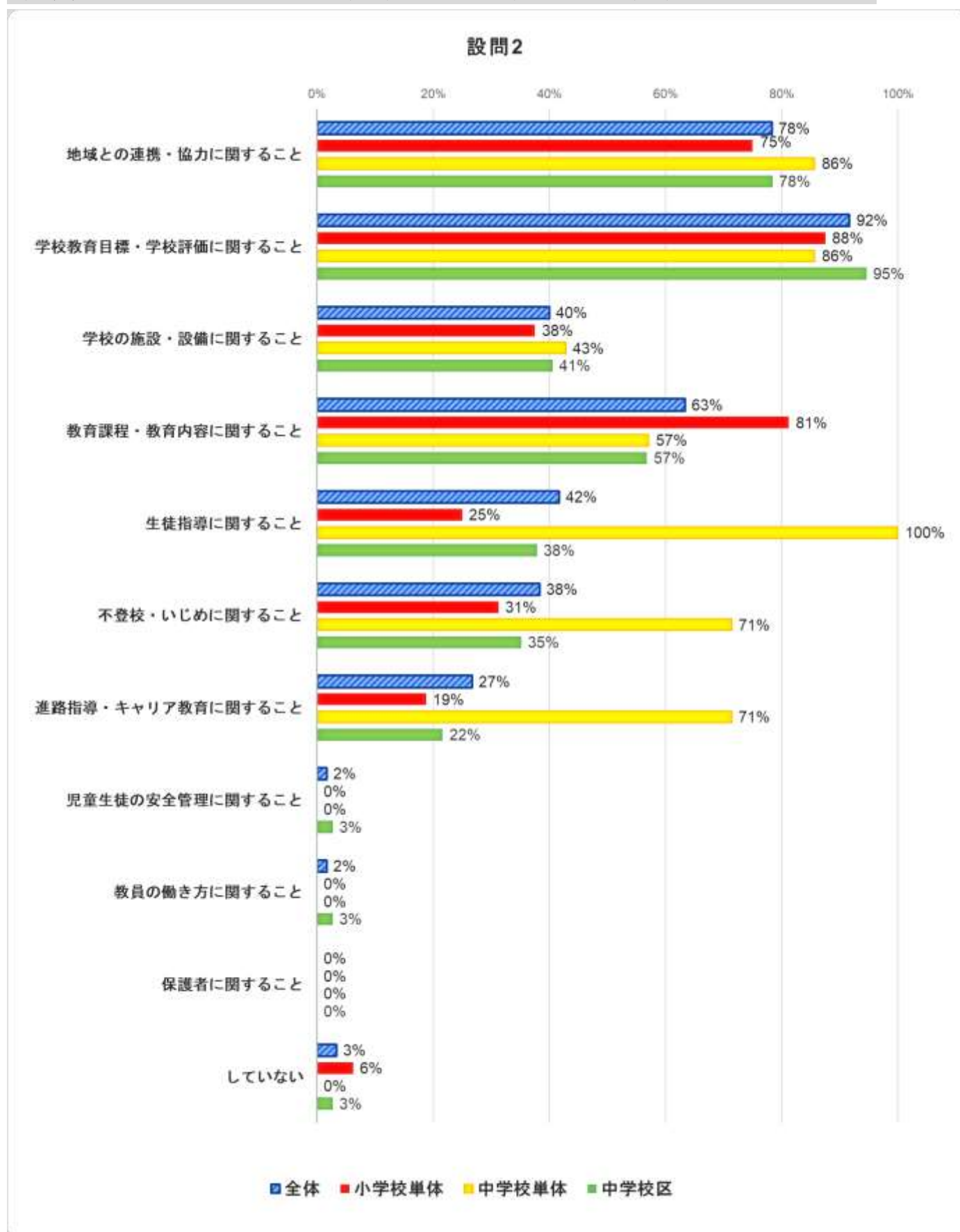
【具体的な内容（補足）】（その他の回答）

- ・部活動の地域移行に関すること
- ・元教員の不祥事に関すること（今後の学校運営も含む）
- ・学校給食
- ・学校行事に関すること
- ・150周年事業に関すること
- ・学校規模適正化に関すること
- ・制服について

【概要】

最も多い回答が「地域との連携・協力に関すること」であり、全体の98%を占めた。次点は、95%の「学校教育目標・学校評価に関すること」であった。対して、「進路指導・キャリア教育に関すること」は26%と最も回答が少なかった上、設置形態別で大きな差が見られた。また、「教員の働き方に関すること」も設置形態別で差が見られる結果となった。

2. (1) で回答した中で、学校運営協議会内で、熟議に必要な情報を開示した内容について



	全体(60)		小学校単体(16)		中学校単体(7)		中学校区(37)	
	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率
地域との連携・協力に関すること	47	78%	12	75%	6	86%	29	78%
学校教育目標・学校評価に関すること	55	92%	14	88%	6	86%	35	95%
学校の施設・設備に関すること	24	40%	6	38%	3	43%	15	41%
教育課程・教育内容に関すること	38	63%	13	81%	4	57%	21	57%
生徒指導に関すること	25	42%	4	25%	7	100%	14	38%
不登校・いじめに関すること	23	38%	5	31%	5	71%	13	35%
進路指導・キャリア教育に関すること	16	27%	3	19%	5	71%	8	22%
児童生徒の安全管理に関すること	1	2%	0	0%	0	0%	1	3%
教員の働き方に関すること	1	2%	0	0%	0	0%	1	3%
保護者に関すること	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
していない	2	3%	1	6%	0	0%	1	3%

【具体的な内容（補足）】（その他の回答）

- ・ 給食試食
- ・ 児童生徒の学力の実態
- ・ 150周年事業に関すること
- ・ 学校規模適正化に関すること
- ・ 制服について

（「していない」と回答した方のみ→理由）

- ・ 時間がなかった
- ・ コロナ禍明けで組織の立て直しから始めたため、そこまでの活動に至っていない。また、中学校区単位なので、各校の個別事象に対しての熟議が難しい。しかし、次年度は熟議や協議を行っていくことを全体会で確認した。

【概要】

項目の10個のうち7個が、全体の50%を下回る結果となった。また、「児童生徒の安全管理に関すること」「教員の働き方に関すること」は2%、「保護者に関すること」は0%と非常に低かった。さらに、「生徒指導に関すること」「不登校・いじめに関すること」「進路指導・キャリア教育に関すること」は設置形態別で大きな差が見られた。

3. 学校運営協議会委員からの意見を実際に学校運営に生かした例について

(※同内容の回答はまとめさせていただいています。)

【地域との連携・協力に関すること】

- 学校行事の地域の方々の参加について 併設する閉園した幼稚園の跡地の活用について
- 地域からの苦情等に対して、運営協議会の方が親身になって対応をいただいた。
- 卒業式、入学式の参加体制
- 全校の学校行事（運動会等）
- 学校体制づくり（チーム担任）
- 地域の方や保護者の方が学べる講演会を開催した。
- 地域との連携のさらなる充実
- 子どもたちへの支援強化に関するご意見をいただき、学習支援を中心に手厚い支援を受けることができた。
- 地域人材（ゲストティーチャー）の招聘
- 授業支援（図工等）への地域参加、支援
- 地域との活動について相談してくれたら協力すると言われているので、球根植えや町探検などいろいろな活動でご協力をお願いしている。
- 来年度、地域の行事を子どもたちが企画する取組を考えている。
- たて割り班の活動について積極的な指導
- 地域での挨拶や片付けなどの指導
- 地域との連携で、図書ボランティアや平城宮跡のオリエンテーリングのガイドとして協力していただいた。
- 児童数減に伴い、行事の縮小にすることに理解をいただいた。学校運営に関わる地域の協力をいただけるよう、お願いした。
- 地域と協働する行事について、コロナ禍を経て、縮小規模ながら実施。
- コーディネーターを通して、1年生生活科の昔遊びに指導しに来てくれる方を探してもらった。
- 地域の方々が子ども達と関わり、今の学校の様子を知る機会を増やしてもらいたいという意見に対して、学校行事を地域の方にも見ていただいたり参加していただいたりする機会をもった。

【学校教育目標・学校評価に関すること】

- 学校経営方針（授業改善）に賛成していただき、公開研究授業などにも委員の皆さんに参加いただくなど全面的に協力していただいている。
- 特に学校評価については、取組の見直しの参考にしている。
- 学校評価アンケートの考察結果に基づき、改善点等についてご意見をいただいた。

【学校の施設・設備に関すること】

- 更衣室の設置
- 防犯カメラは設置しない。

- 学校施設、設備の補修等について、地域のほうからも行政に要望をしてくださった。学校行事の企画に関して肯定的なご意見を頂戴し、運営することができた。
- 登下校の際、ヘビがよく出入りする校地隣接場所を子どもたちの安全のために除草整備
- 校舎敷地内に植わっている樹木の剪定について（剪定時期と方法）

【教育課程・教育内容に関すること】

- 2 学期に小学校の授業を参観してもらい、その後の意見交流で出た感想や意見などを職員全体に共有した。具体的には板書はていねいに書くなどである。
- 地域連携の在り方で、学校園での交流の工夫の仕方。分かりやすい授業づくりや取り組みやすい課題。勉強だけでなく、人間的にも成長して欲しいという観点から、人権教育に力を入れる計画をしている。
- 教育の不易と流行について（GIGA スクール構想が推進される中で、どの程度 ICT を活用すべきか）
- 違いを認め、共に生きる姿勢を育てる（自分らしく生きるということやLGBTQ への理解など）人権教育を推進すること
- 5 年生が中心になって森林教育を行っているが、冒険の森の有効活用を全学年で行った。
- 中学校において「自発的に学ぶ力の獲得」に取り組むこと
- 研究授業を含め教員の授業力向上に力を入れること

【生徒指導に関すること】

- 授業を参観していただいたときの感想の中に、タブレット使用時に、教科書等を床に置く生徒がいることに対しての否定的な意見をいただいた。それに対して、教室の整理の仕方等の改善をした。
- 児童生徒の学校評価アンケートの全体の傾向とともに、否定的な回答をしている児童生徒について、個別に見取り指導していく必要があるとの意見を得た。生活調査アンケートやいじめのアンケート、その他日頃の児童生徒の様子を観察などをおして、それぞれの児童生徒の状態の把握に努めるよう、校内で意識の共有を図った。
- 生活習慣を整え、学力向上につなげる取組
- 挨拶活動の更なる推進
- 登下校のマナーに関する継続指導

【不登校・いじめに関すること】

- 不登校又は不登校傾向にある生徒の対応について、校内適応教室を設置し全教職員が関わりを持つ体制整備ができた。
- 登下校の見守り活動をしていただいている方から、不登校気味に感じられる児童の様子を伝えていただき、その情報を教職員で共有した。
- 不登校気味の児童への寄り添いを丁寧に行うこと本校で実施している取組について、おおむね良好なご意見であった。課題である不登校の対応の件について、地域の方も取り組んでいただけるように協力をお願いし、地域で不登校児の保護者が集まれる会を実施していただいた。

- 校区の子どもたちの様々ある課題の中で、特に不登校生徒の増加について情報提供するとともに、その要因や今後の手立てなど、学校・地域・家庭がそれぞれの立場から、何ができるかを具体的に考えた。学校として、自尊感情を向上させる取組として、生徒が発表する場を増やすなど自信をつけさせ、達成感を体験する機会を設けること。また、生徒の小さな声を拾う丁寧な取組がより必要であることを再確認し、現在行っている教育相談をより充実した機会としている。
- 不登校支援についての協力体制や周知について

【進路指導・キャリア教育に関すること】

- 職場体験について事業所を探すことや連絡するといったことを運営協議会や地域協議会を通じてみたらいかかという提案をいただき、次年度の職場体験の実施について早速協力をいただき取り組んでいる。
- キャリア教育に活かせる地域の施設や事業所等の情報提供

【児童生徒の安全管理に関すること】

- 地域コーディネーターから地域ボランティアの協力だけでは難しい場合、保護者への協力をお願いしてほしいとの声があり、実際2年生の「町たんけん」では、保護者へも協力を依頼した。
- 地域ボランティアと保護者が一緒に活動することによって、両者の関係を深めることをねらい、今後は、他の活動においても地域への協力依頼と同時に保護者への依頼を行う。
- 登下校の見守りボランティアの募集に協力していただく。
- 児童の安全対策について（登下校時 不審者）
- 登下校見守りの人員拡大

【教員の働き方に関すること】

- 教職員の負担軽減を保護者に説明する方法について
- 教員の働き方改革と学校が対応すべきことがらの整理が必要であるとの認識を理解していただいた。保護者への周知や啓発について、課題であることを一致させ、今後に生かしていきたい。

【保護者に関すること】

- 家庭でのクロームブックの利用に関して、保護者にも周知していくこと
- 学校評価アンケートの結果からいくつか意見を頂戴した。特に家庭学習に対するご意見をPTA 運営委員会の話題として出し、それを運営委員会だよりに掲載してもらい全保護者に学校が行っている家庭学習課題等の内容を周知した。

【その他】

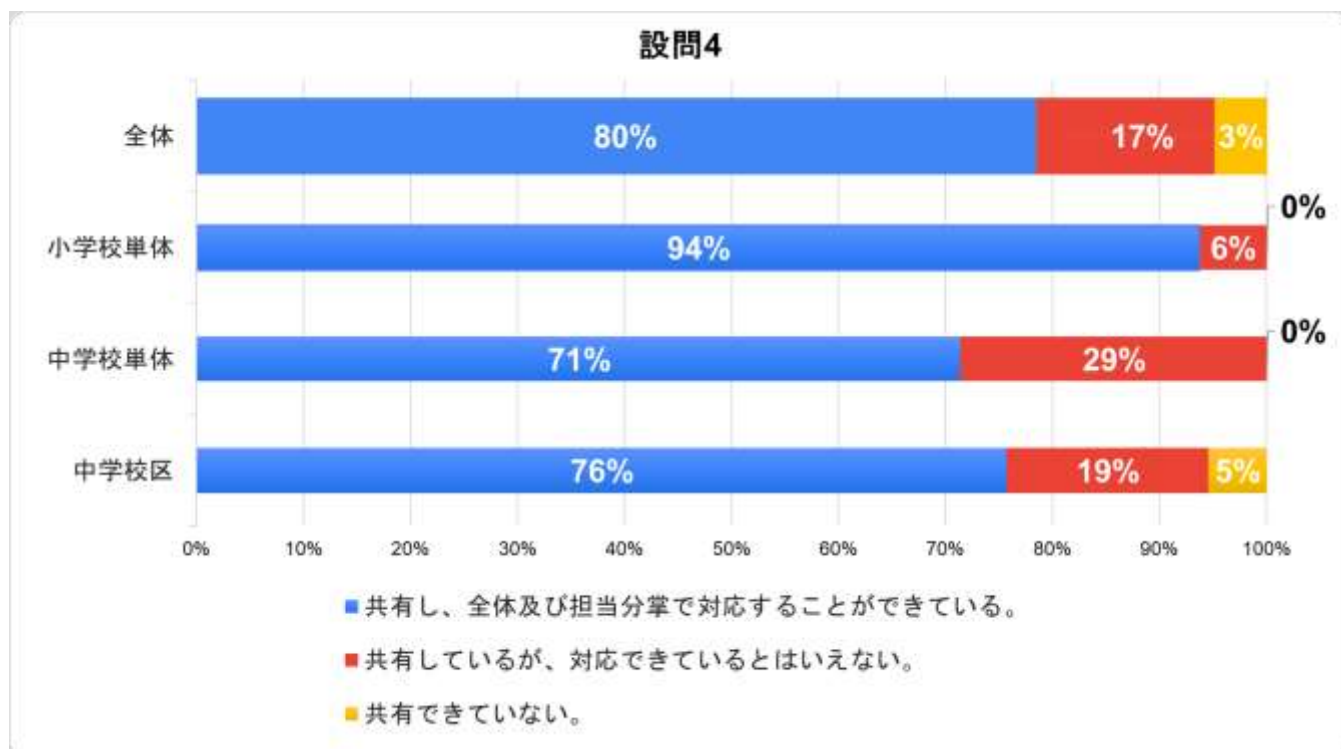
- 今後の本校の制服について
- 150 周年事業に関すること全般
- 「地域で子どもを育てる」ことを大切に今後も協力して実践していただきたい。地域連携を

主導している地域教育協議会から学校運営協議会に投げかけていただくこともよいのではと考える。

- 給食に係る四者会議で委員の意見を報告した。また、委員からも市長との懇話会において給食について意見を述べたと伺っている。
- 図書室の活用のしかたについてアドバイスを頂き、図書委員会で実施した。
- 今後も児童の心の育成に資する文化的行事を大切にしていきたい。
- 総括会議で職員に話し、次年度への取組に反映させている。

等

4. 学校運営協議会委員からの意見を教職員全員で共有し、対応しているか。

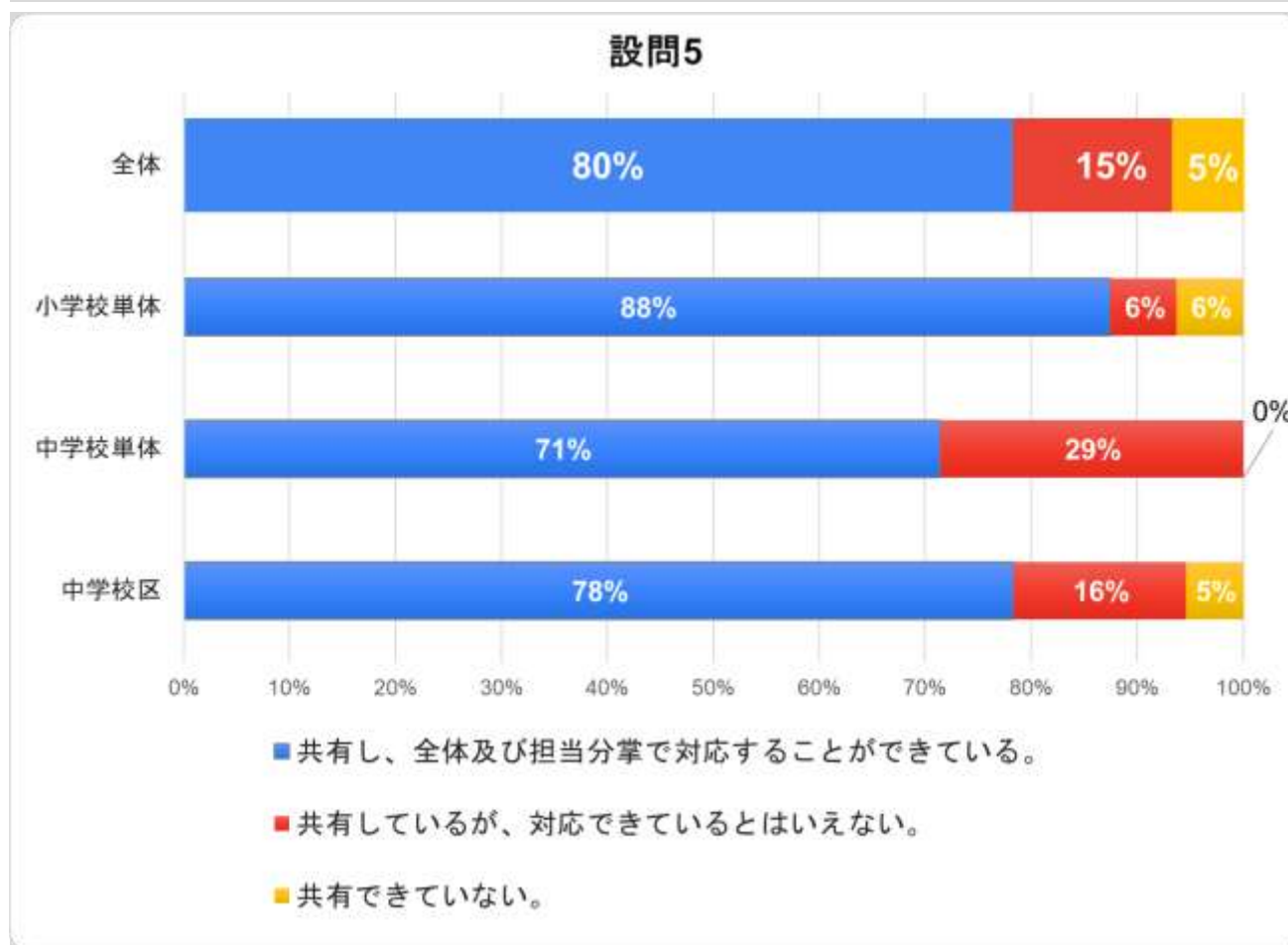


	全体(60)		小学校単体(16)		中学校単体(7)		中学校区(37)	
	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率
共有し、全体及び担当分掌で対応することができる。	48	80%	15	94%	5	71%	28	76%
共有しているが、対応できているとはいえない。	10	17%	1	6%	2	29%	7	19%
共有できていない。	2	3%	0	0%	0	0%	2	5%

【概要】

設置形態別で僅かに差がみられ、「共有し、全体及び担当分掌で対応することができる。」の項目において、小学校単体は94%と大部分を占めた。しかし、中学校単体は71%、中学校区は76%の回答率となった。

5. 学校運営協議会で決定した方針を地域教育協議会又は運営委員会に共有し、対応しているか。

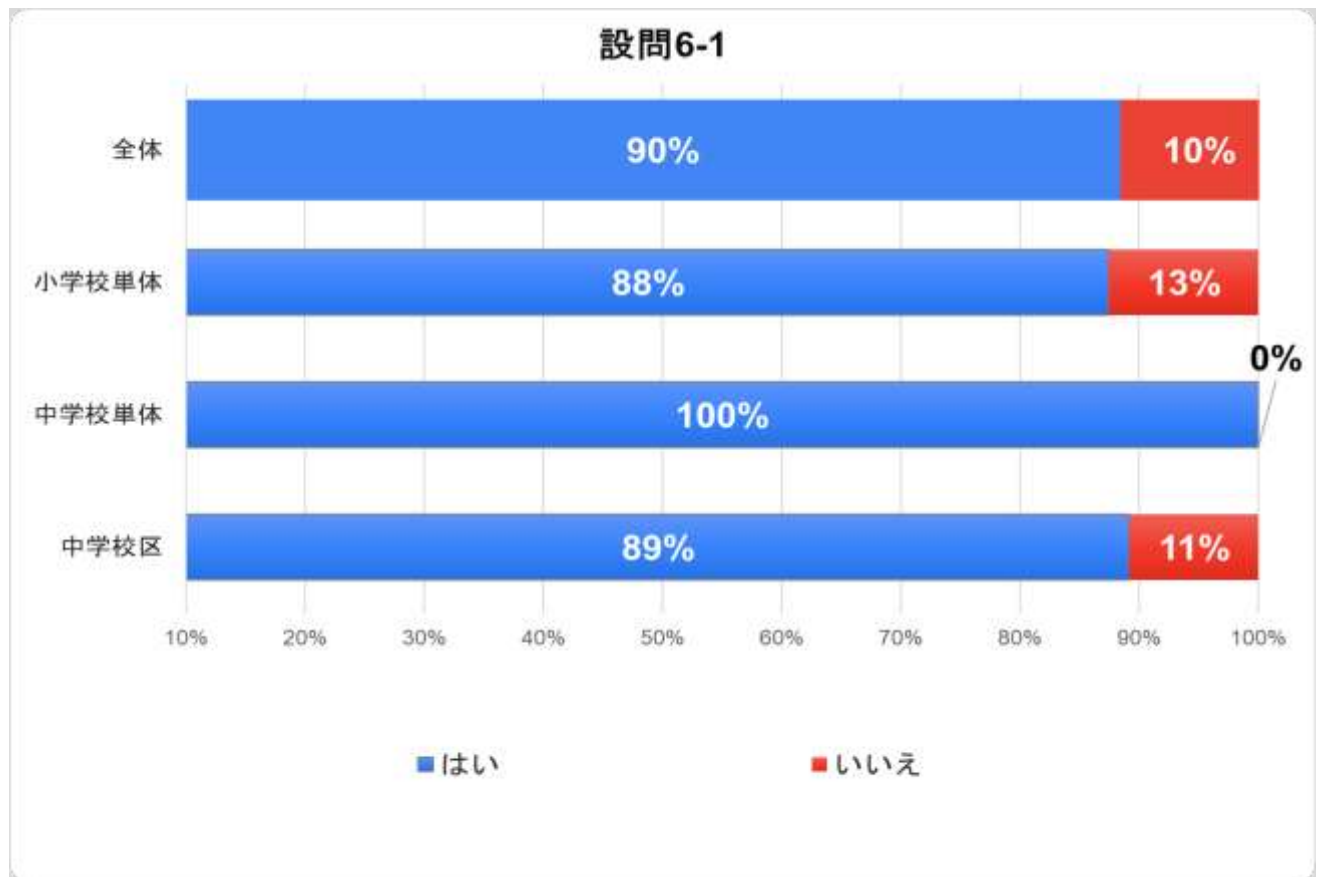


	全体(60)		小学校単体(16)		中学校単体(7)		中学校区(37)	
	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率
共有し、全体及び担当分掌で対応することができる。	48	80%	14	88%	5	71%	29	78%
共有しているが、対応できているとはいえない。	9	15%	1	6%	2	29%	6	16%
共有できていない。	3	5%	1	6%	0	0%	2	5%

【概要】

全体の95%の学校が「共有している」と回答し、80%の学校が全体及び担当分掌で対応できていると答えた。

6-1. 学校運営協議会で熟議はできているか。

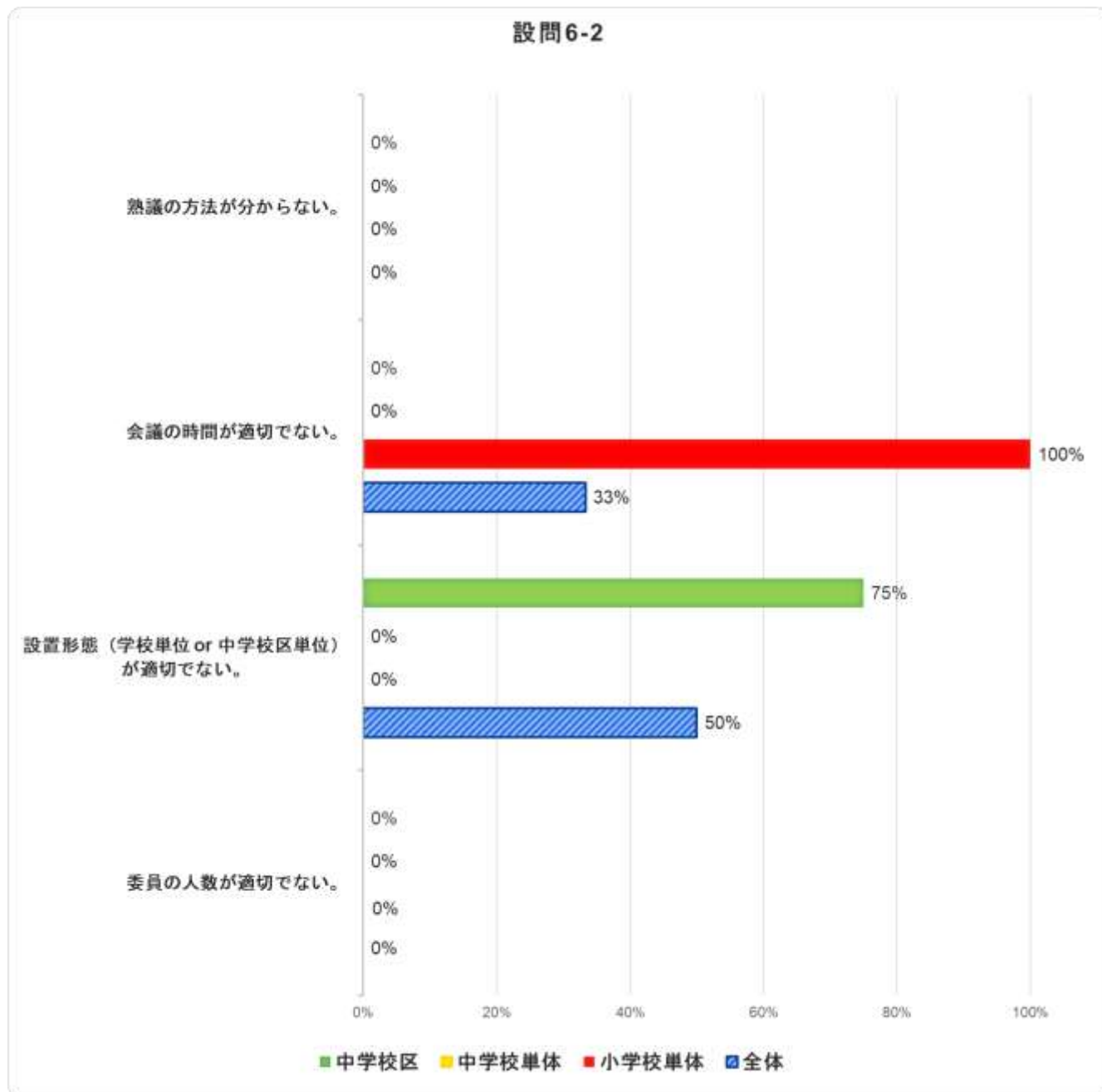


	全体 (60)		小学校単体 (16)		中学校単体 (7)		中学校区 (37)	
	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率
はい	54	90%	14	88%	7	100%	33	89%
いいえ	6	10%	2	13%	0	0%	4	11%

【概要】

全体の90%が「はい」と回答した。また、中学校単体では、100%という結果になった。設置形態別にみても、大きな差は見られなかった。

6-2. 熟議できていない理由について（複数回答可）（6-1 で「いいえ」と回答した方のみ）



	全体(6)		小学校単体(2)		中学校単体(0)		中学校区(4)	
	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率
委員の人数が適切でない。	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
設置形態（学校単位 or 中学校区単位）が適切でない。	3	50%	0	0%	0	0%	3	75%
会議の時間が適切でない。	2	33%	2	100%	0	0%	0	0%
熟議の方法が分からない。	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

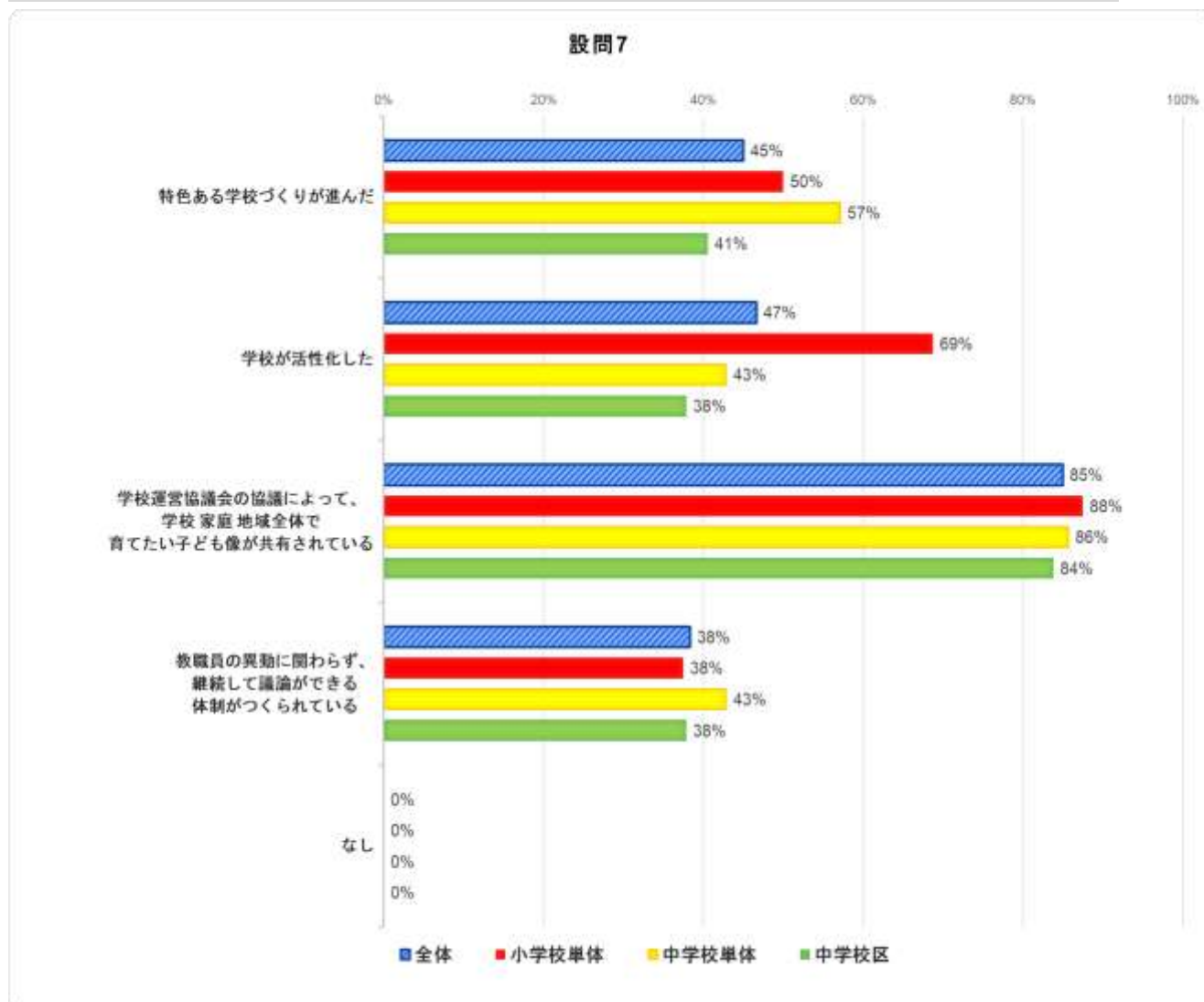
【具体的な内容（補足）】（その他の回答）

・中学校区単位ではある程度できているが、学校単位では、学校数の多さや仕組み、時間確保など難しさを感じる。

【概要】

設置形態別で差が見られ、小学校単体では「会議の時間が適切でない。」が100%を占め、中学校区では、「設置形態が適切でない。」という回答が75%を占めた。

7. コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）による成果について（複数回答可）



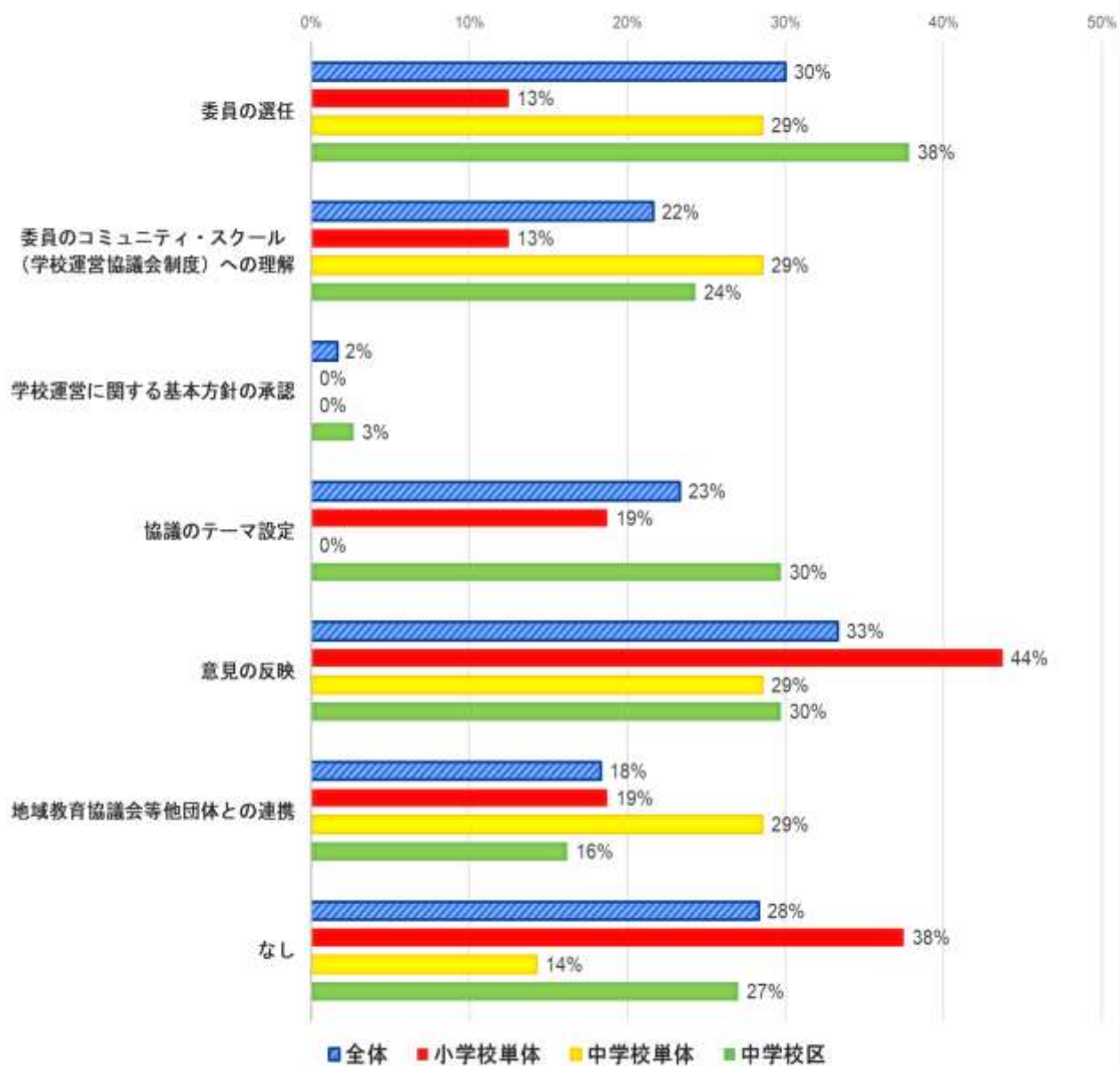
	全体 (60)		小学校単体 (16)		中学校単体 (7)		中学校区 (37)	
	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率
特色ある学校づくりが進んだ	27	45%	8	50%	4	57%	15	41%
学校が活性化した	28	47%	11	69%	3	43%	14	38%
学校運営協議会の協議によって、 学校 家庭 地域全体で育てたい子ども 像が共有されている	51	85%	14	88%	6	86%	31	84%
教職員の異動に関わらず、 継続して議論ができる体制がつくられて いる	23	38%	6	38%	3	43%	14	38%
なし	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

【概要】

最も多い回答は、「学校運営協議会の協議によって、学校 家庭 地域全体で育てたい子ども像が共有されている」であり、全体の 85%を占めた。設置形態別に見ると、中学校区の回答の割合が全体的に低く、他 2 形態より成果を実感していないことが分かった。

8. コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）における課題について（複数回答可）

設問8



	全体(60)		小学校単体(16)		中学校単体(7)		中学校区(37)	
	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率	回答数	百分率
委員の選任	18	30%	2	13%	2	29%	14	38%
委員のコミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) への理解	13	22%	2	13%	2	29%	9	24%
学校運営に関する基本方針の承認	1	2%	0	0%	0	0%	1	3%
協議のテーマ設定	14	23%	3	19%	0	0%	11	30%
意見の反映	20	33%	7	44%	2	29%	11	30%
地域教育協議会等他団体との連携	11	18%	3	19%	2	29%	6	16%
なし	17	28%	6	38%	1	14%	10	27%

【概要】

最も多い回答が33%で「意見の反映」であり、次点が30%で「委員の選任」であった。次に多いのが、「なし」であり、全体の28%が「なし」と回答した。